団体名	かなしみぽすと
活動テーマ	グリーフケア

Death Café チラシ	3 回連続公開講座チラシ
Death Café の様子	3 回連続公開講座の様子

【目的・動機】「かなしみぽすと」は上智大学グリーフケア研究所の修了生有志が立ち上げたグループです。学んだことを活かして悲しみを抱えた方に安心して参加していただける場をつくることで、悲嘆者に優しい社会になればと願っています。

【活動の実施方法・内容】

(1)Death Café・・お茶を飲みながら日頃あまり話す機会のない死についてゆっくり語り合える場です。これまで出せなかった悲しみを表すことができたり、死生観を見つめることができます。

(2)公開講座・・・グリーフケアに詳しい講師を招き、「グリーフ」および「グリーフケア」という概念や必要性の周知と、その理解を深めます。

【活動で得られた成果】

(1)Death Café・・みなさんが自分自身と向き合い心を開いて語ってくださいました。それぞれの死別体験から、その人なりにどのように“死”を受け止めたか、そこから自分自身の“生・死”についてどう感じているかなど、貴重な語りの場になりました。「一体感を感じることができた」「安心して語れた」「自然体で居られた」などの感想が寄せられました。

(2)3 回連続公開講座・・3 回の参加者合計 104 名。参加者の居住地や年齢層は幅広く、今後もこのような企画に参加したいという声が寄せられ、悲嘆に対する関心の高さが伺えました。

≪居住地≫大阪市内 38.9%、大阪市内以外の府内 25.9%、兵庫県 24.0%、奈良県 7.4%、京都府 1.8%、和歌山県 1.8%

≪年齢≫20 代 4.5%、30 代 11.3%、40 代 25.0%、50 代 36.3%、60 代 13.6%、70 代 6.8%、80 代 2.3%

≪性別≫女性 71%、男性 29%

・参加動機が多かったのは、①「仕事で悲嘆者と接する」②「自身が悲嘆を抱えている」③「身近に悲嘆を抱えている人がいる」の順

・内容については参加者の 91%が「わかった・ほぼわかった」・講座の満足度は 82%の方が「大変満足・満足」

・このような企画にまた参加したいかについては 77%の方が「ぜひ参加したい・参加したい」と回答